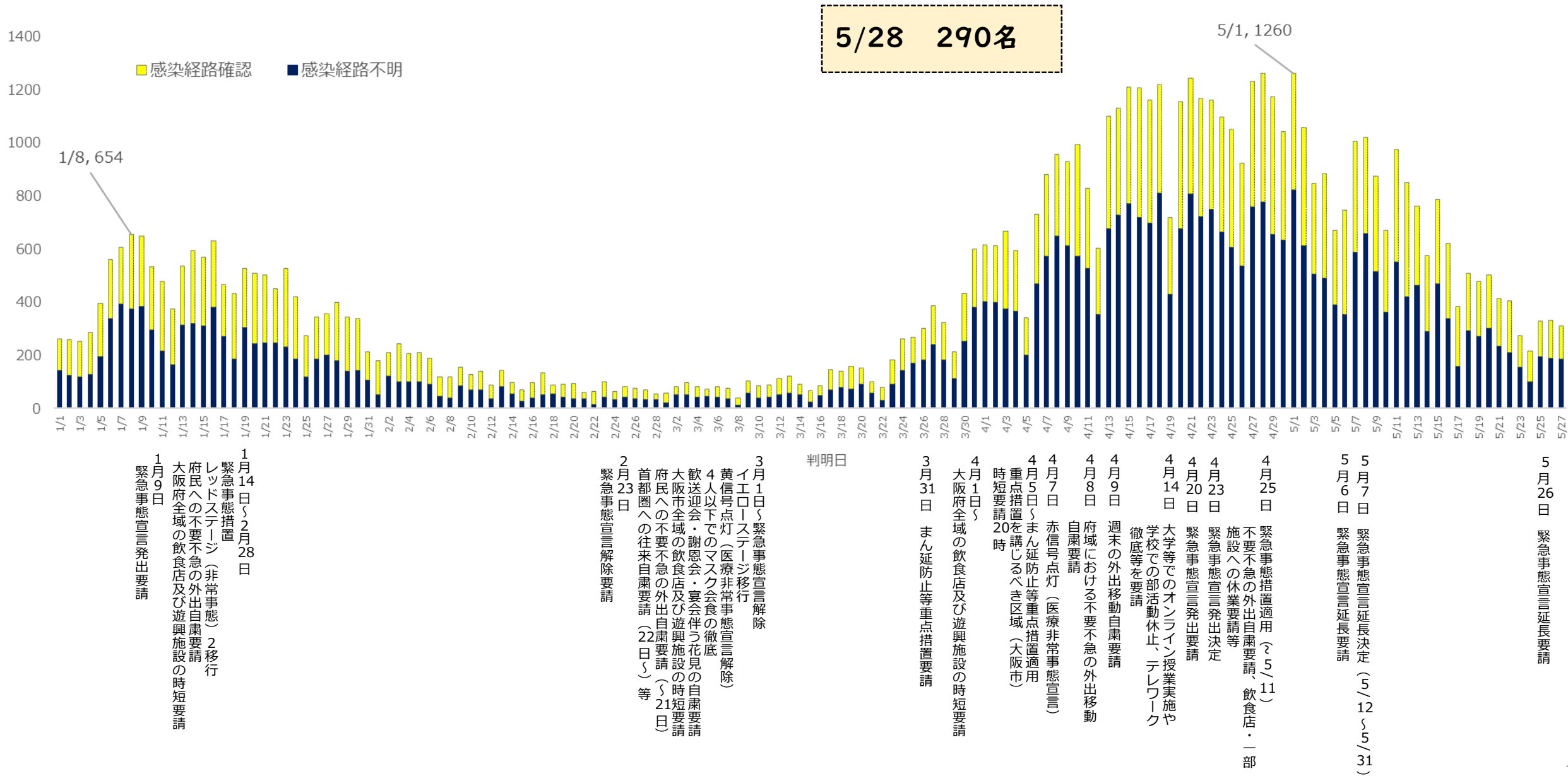
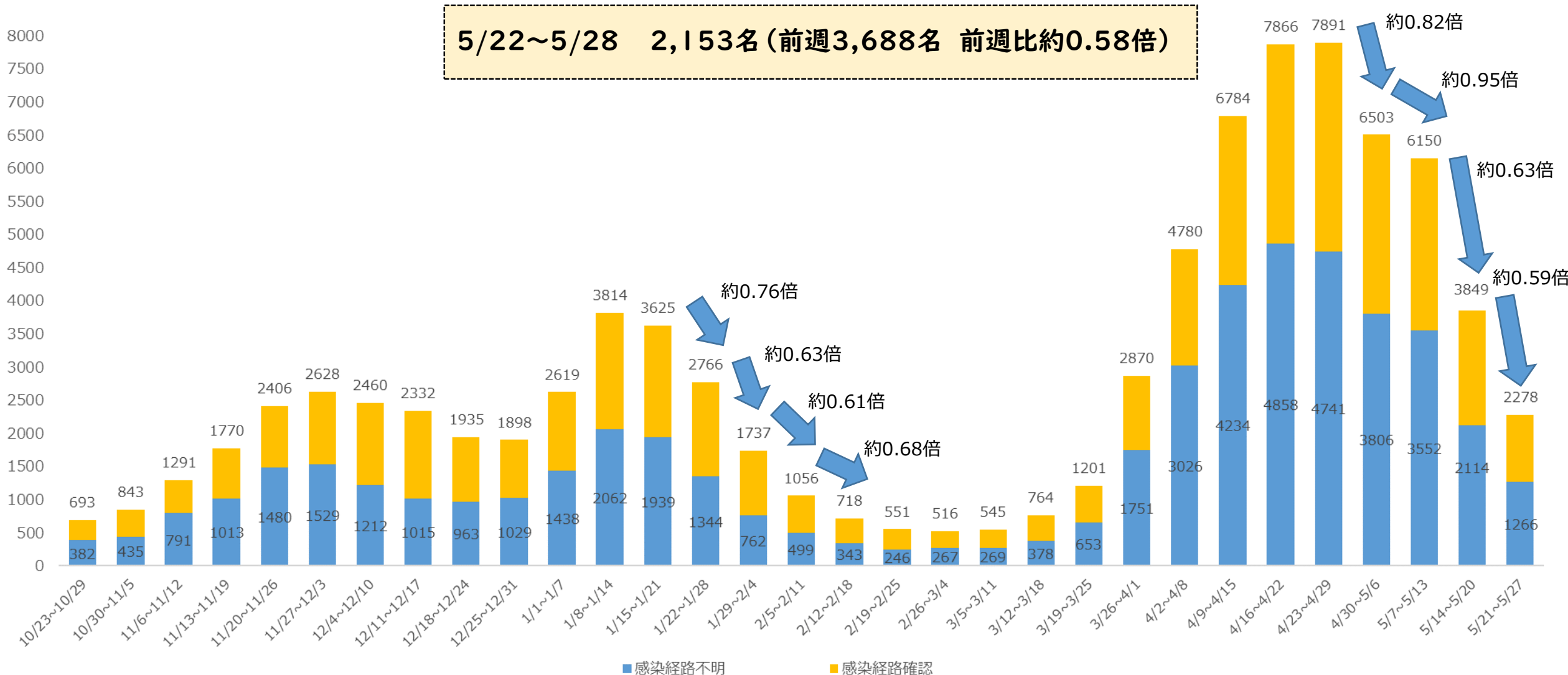


陽性者数の推移



7日間毎の新規陽性者数

◆直近2週間は連続して減少速度が上がっているが、一日平均約330名の新規陽性者が発生しており、依然高水準。



「大阪モデル」モニタリング指標の状況

病床のひっ迫状況は改善傾向が見られるが、確保病床（224床）における重症病床使用率は、依然、100%を大幅に超過。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	0.63	0.59	0.56	0.58	0.60	0.61	0.60	5/4以降1を下回り、減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	294.29	257.57	231.86	223.71	209.43	197.71	180.86	5/3以降、減少傾向
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	56.4%	52.0%	56.9%	46.3%	59.0%	56.8%	59.5%	概ね40～60%台で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	3688	3309	2963	2797	2616	2470	2278	5/3以降、減少傾向
	うち後半3日間		—	—	—	1393	1322	1095	896	817	874	967	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	41.84	37.54	33.61	31.73	29.68	28.02	25.84	5/3以降、減少傾向
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	4.0%	3.7%	3.4%	3.2%	3.1%	3.0%	2.6%	5/8以降、減少傾向
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率 ※使用率の分母は224床（運用率）	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	141.1% (90.8%)	140.6% (90.5%)	137.5% (88.5%)	129.0% (83.0%)	127.7% (82.2%)	119.6% (77.0%)	113.8% (72.6%)	5/6以降、減少傾向
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	68.0%	66.2%	64.2%	65.9%	64.2%	63.4%	60.1%	5/6以降、減少傾向
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	26.5%	25.3%	24.5%	23.1%	20.9%	18.8%	17.7%	5/3以降、減少傾向

＜大阪モデルの重症病床使用率について＞

- ・使用率は、確保病床数224床で算出。重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。
- ・「今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について（令和3年3月18日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）」をふまえ、今後、病床確保計画の見直しを予定しているが、大阪モデルに基づく重症病床使用率を算出するにあたっての確保病床数については、今後の医療提供体制をふまえた赤信号（医療非常事態）の基準のあり方を整理する必要があることから、緊急事態措置解除までの当面の間、現在の確保病床数224床とする。（解除要件を満たした場合であっても緊急事態措置中は赤信号を点灯するとの決定（令和3年2月19日 本部会議決定事項）をふまえ、緊急事態措置解除後に、病床確保計画に合わせて確保病床数を変更予定。）
- ・括弧内は、確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含んだ運用病床に占める、重症病床入院者数（対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く）の割合。

5/25 緊急事態宣言延長要請決定（第50回対策本部会議）

5/28 緊急事態措置延長決定（国）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

医療のひっ迫具合を示す指標に改善傾向が見られるが、3月1日の緊急事態措置解除の段階と比べると、依然、極めて厳しい状況。

		指標	ステージIV 目安	3/1	4/25	5/12	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/27時点の 目安に対する状況	
ステージIV	医療提供体制等の負荷	医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	30.4% (601/1,978)	88.7% (1,882/2,122)	80.2% (2,087/2,603)	71.0% (1,894/2,667)	69.4% (1,851/2,667)	67.3% (1,796/2,667)	68.2% (1,820/2,670)	66.5% (1,776/2,670)	65.1% (1,739/2,670)	61.7% (1,650/2,674)	●
			②入院率	25%以下	56.1% (601/1,072)	11.3% (1,882/16,692)	9.6% (2,087/21,812)	14.2% (1,894/13,321)	14.6% (1,851/12,702)	15.2% (1,796/11,792)	16.4% (1,820/11,081)	16.2% (1,776/10,957)	16.5% (1,739/10,551)	15.8% (1,650/10,451)	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	35.0% (143/408)	73.1% (386/528)	67.5% (500/741)	60.9% (453/744)	59.8% (445/744)	58.9% (438/744)	56.3% (419/744)	52.6% (413/785)	50.6% (397/785)	48.6% (383/788)	○
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	12.16	189.36	247.44	151.12	144.09	133.77	125.71	124.30	119.69	118.56	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	1.6%	7.5%	6.4%	4.0%	3.7%	3.4%	3.2%	3.1%	3.0%	2.6%	○	
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	5.67	86.08	69.61	41.84	37.54	33.61	31.73	29.68	28.02	25.84	●	
		⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	47.4%	61.3%	56.1%	55.9%	54.5%	54.8%	56.0%	56.0%	56.0%	55.6%	●	

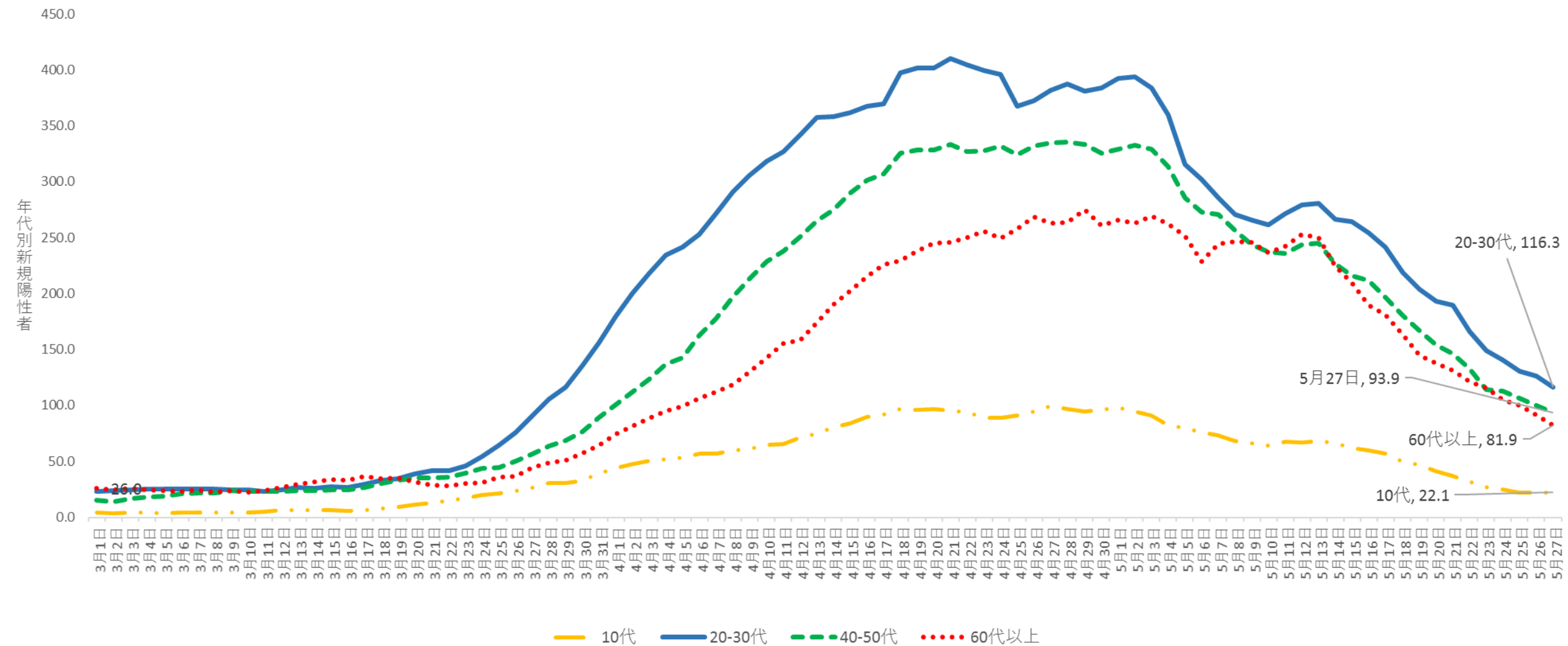
入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

3/1 緊急事態措置解除
4/25 緊急事態措置適用
5/12 緊急事態措置延長
5/28 緊急事態措置延長決定（国）

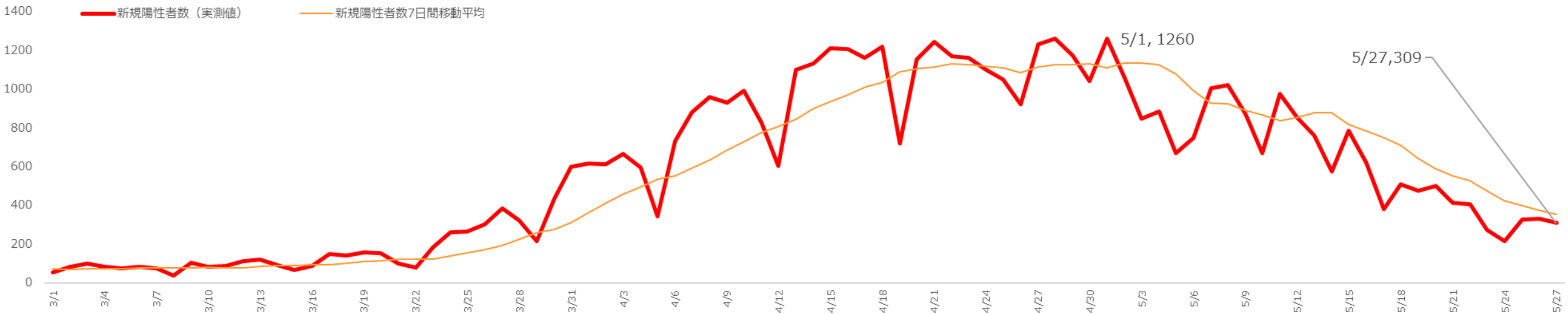
●：基準外 ○：基準内

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

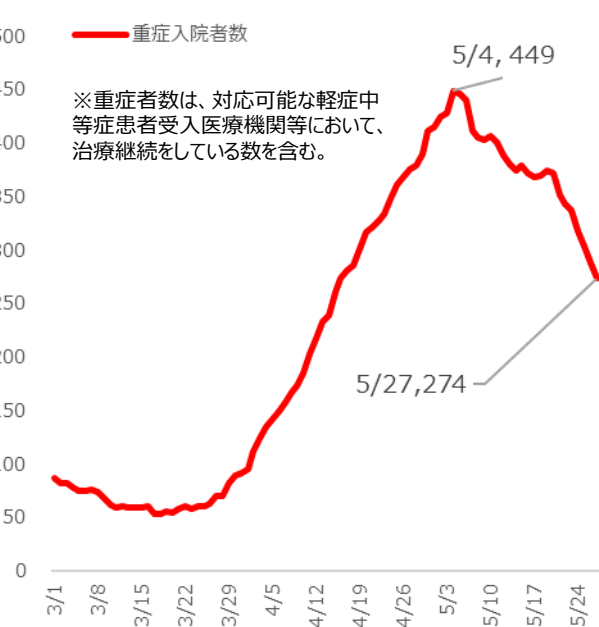
各年代で新規陽性者数（7日間移動平均）が減少。



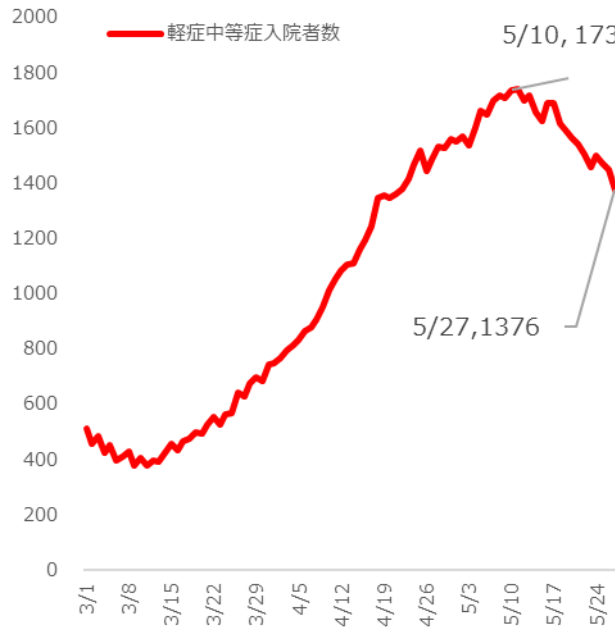
新規陽性者数と入院・療養者数（5月27日時点）



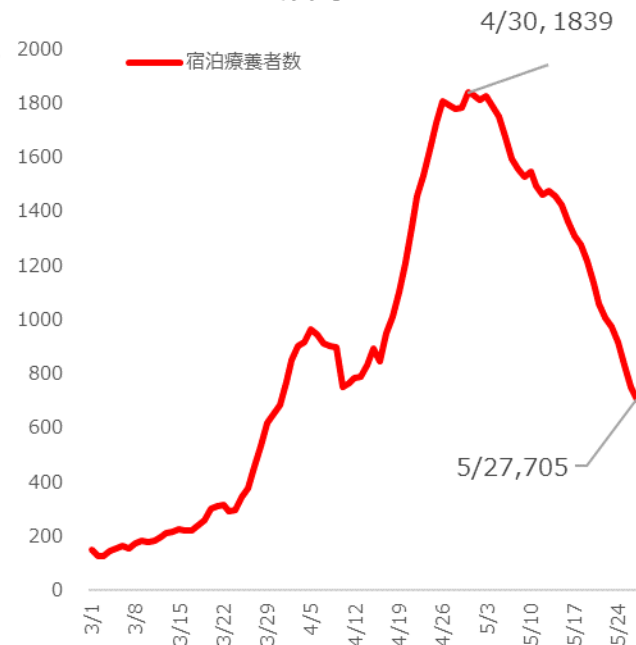
入院患者（重症）



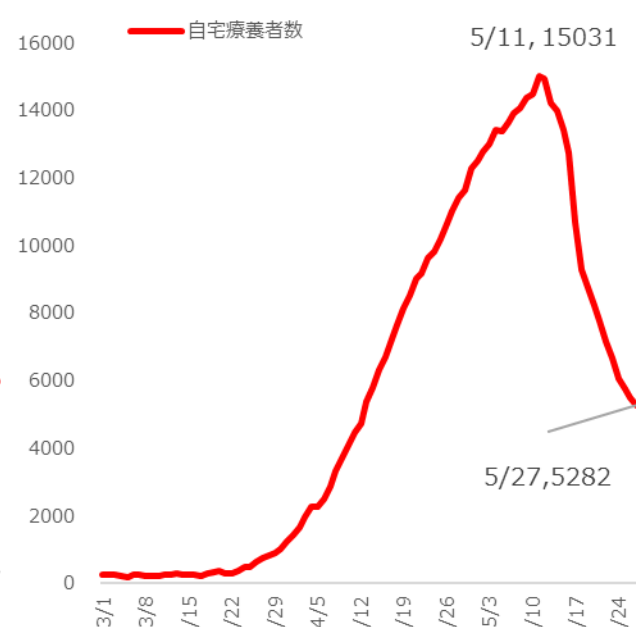
入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況(5月27日時点)

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数351床※ ※病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。	確保数2,323床	3,986室
入院・療養者数 (別途、自宅療養 5,282人)		255人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている者19人 (計 重症者数 274人)	1,395人※ ※左記19人を含む	705人
使用率		72.6% (入院者数255/確保数等351) 大阪モデルに基づく使用率は、113.8% (入院者数255/確保病床数224)	60.1% (1,395/2,323)	17.7% (705/3,986)
運用率		72.6%※ (入院者数255/運用数351) うち、大阪コロナ重症センター(25/29) (参考)78.1% 運用病床に占める重症者数割合 (重症者数274/運用数351)	60.7% (1,395/2,300)	17.7% (705/3,986)

※ 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月27日現在 **病床運用率72.6%**

運用病床数 **351床**※1 入院患者数 **255人**※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数19人(計重症者数274人)

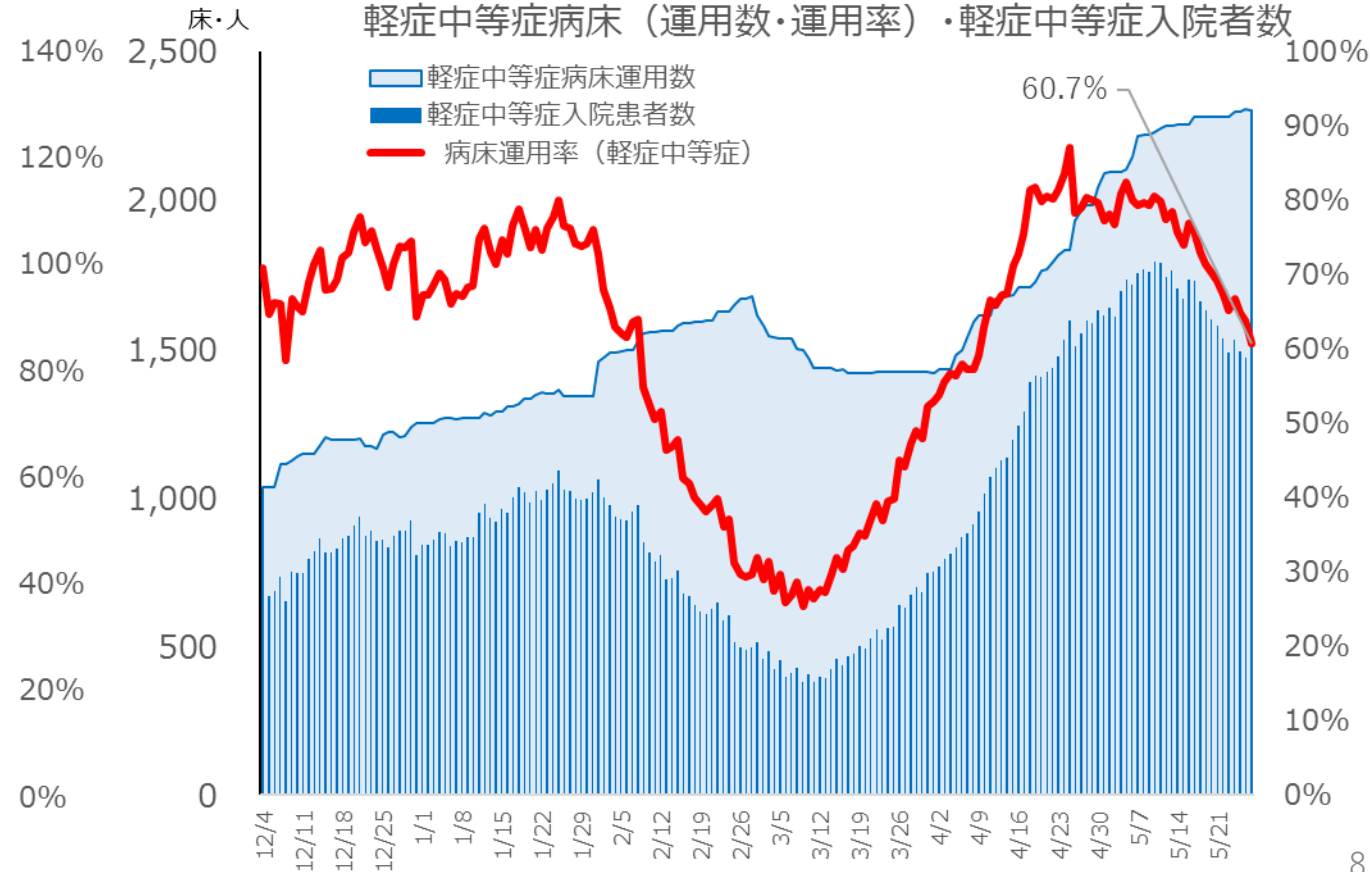
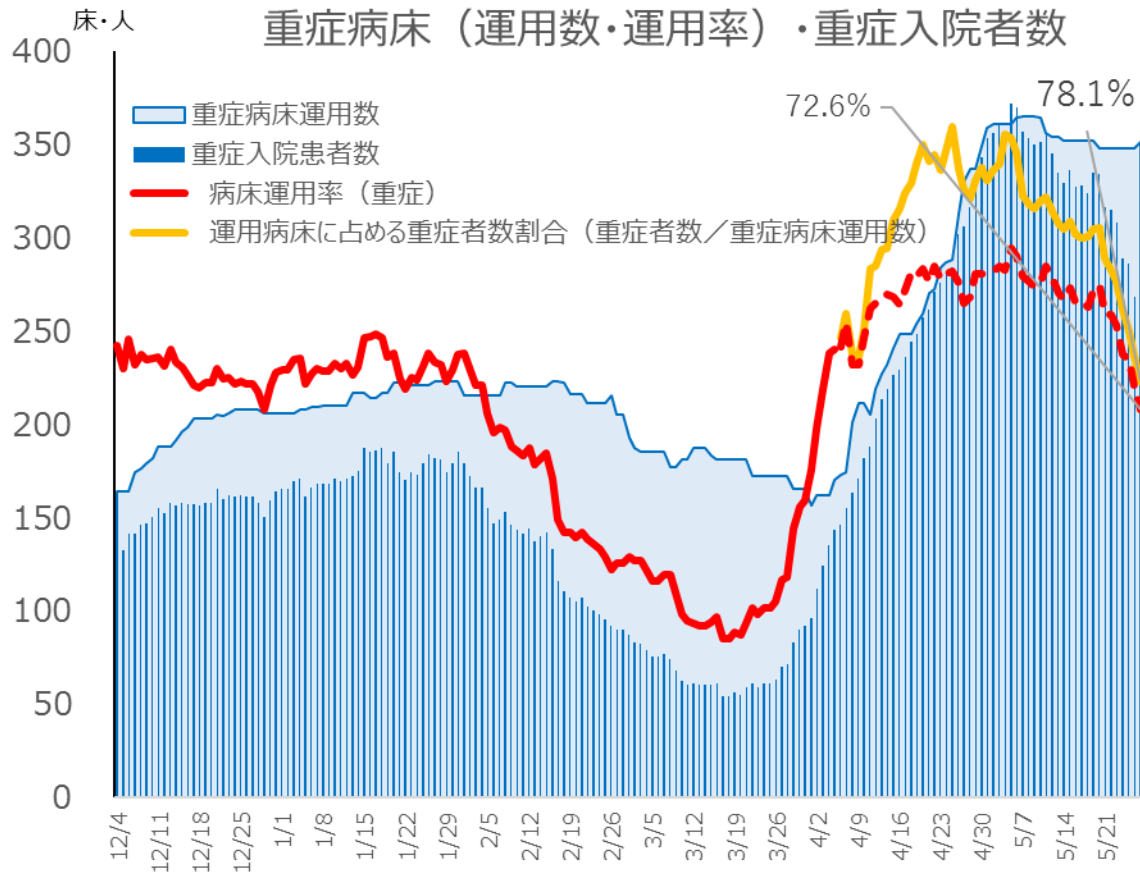
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月27日現在 **病床運用率60.7%**

運用病床数 **2,300床** 入院患者数 **1,395人**※

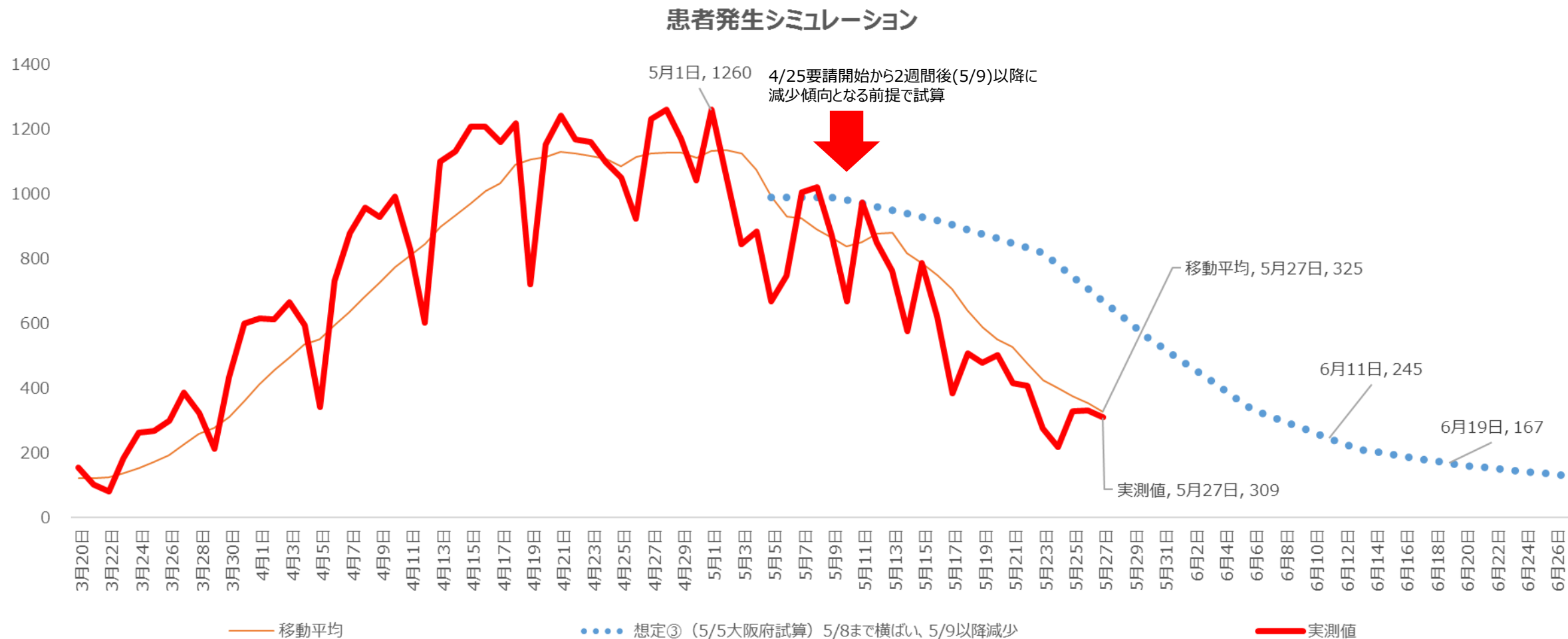
(※左記19人を含む)

・**小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約63%**



新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 第48回対策本部会議資料（資料1-4）のシミュレーション（想定③のみ）に実測値をあてはめ。
 想定：5/6から5/8までは990名/日（5/5時点の新規陽性者数の7日間平均値）の横ばいとなり、5/9（4/25緊急事態措置開始後2週間）以降、第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。



直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25（ステージⅣ）を下回る日：6月11日

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が15（ステージⅢ）を下回る日：6月19日

療養者数のシミュレーション

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を含む。

入院患者数（重症）シミュレーション

■以下の想定でシミュレーションを実施。

5/6から5/8までは990名/日の横ばいとなり、5/9以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

【陽性者数の設定の考え方】

■新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。

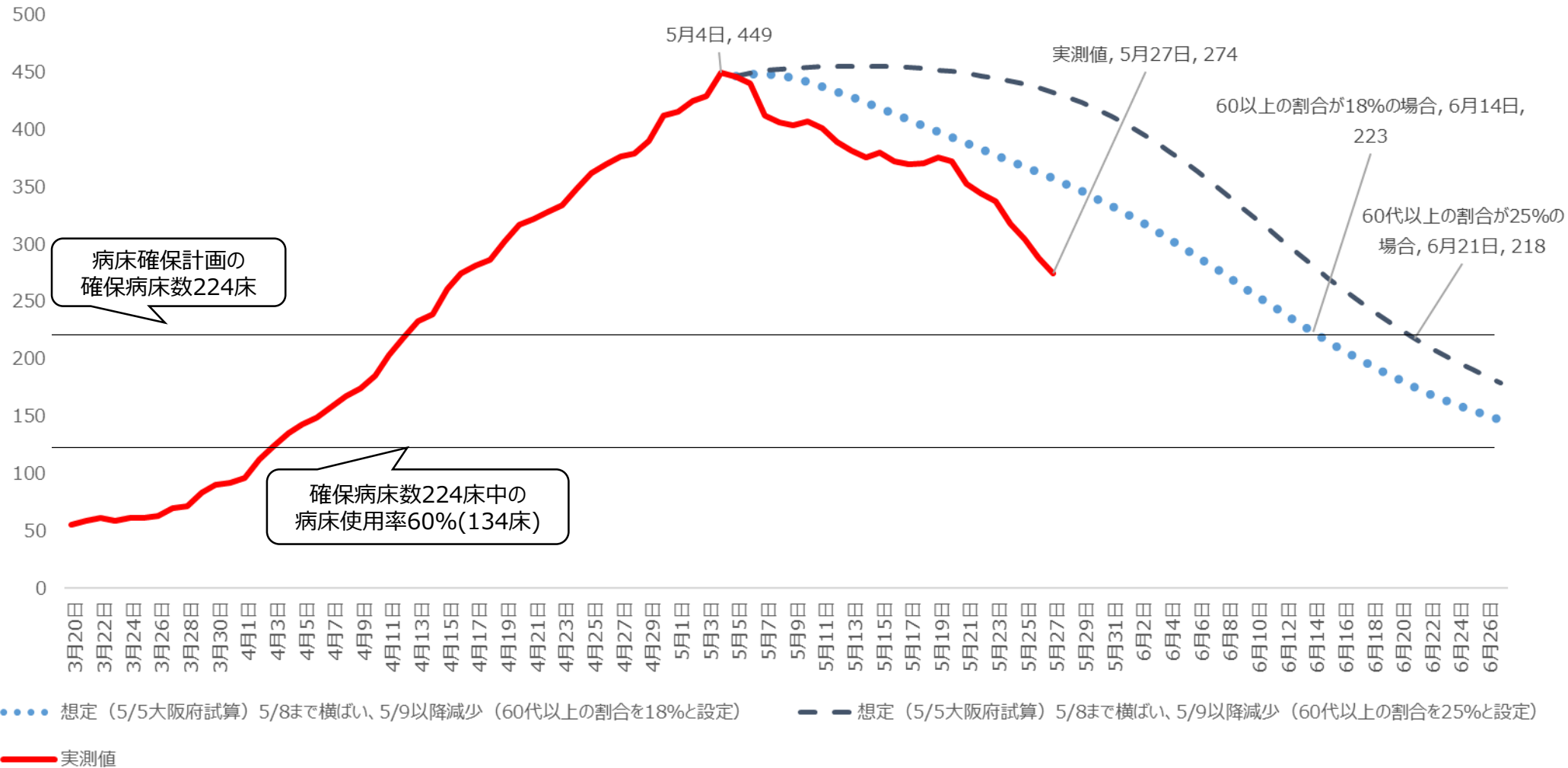
■新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。

※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

【重症率の設定の考え方】

■60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。

■40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。
※2：第四波（3/1～4/5）における重症率



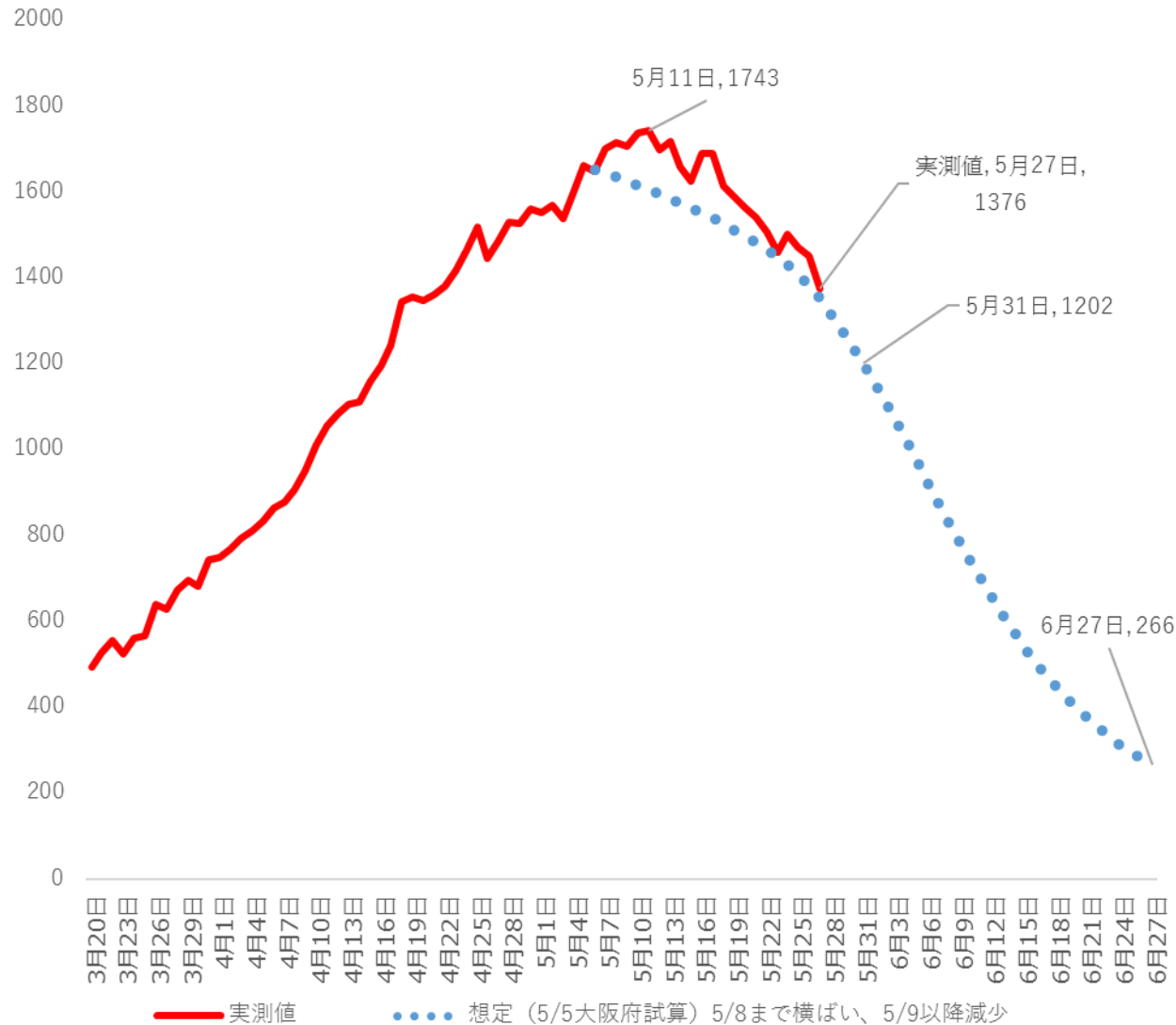
●●● 想定（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を18%と設定） - - - 想定（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を25%と設定）

— 実測値

※陽性者数や重症率の設定の考え方は4月5日時点の数値に基づいてシミュレーションを実施しているが、60代以上の割合は直近の数値（5/5時点の新規陽性者中の割合（7日間）25%）に基づきシミュレーションを追加実施。10
今後、重症率や新規陽性者中の60代以上の割合が増加（第三波では最大で35%程度）すると、重症者数は想定するシミュレーションの値よりも増加する可能性あり。

療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



宿泊療養者数シミュレーション

